

平成26年度全国学力・学習状況調査結果の概要

1 調査の目的

(1) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握、分析することにより、教育及び教育施設の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善策に役立てる。

2 調査の概要

(1) 実施期日 平成26年4月22日(火)

(2) 対象学年 小学校第6学年・中学校第3学年

(3) 調査事項

ア 教科に関する調査

・国語A、算数・数学A・・・主として「知識」に関する問題

・国語B、算数・数学B・・・主として「活用」に関する問題

イ 児童・生徒を対象とした質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査

3 教科区分ごとの平均正答率

(単位 %)

| | 年度 | | 国語A | 国語B | 算数・数学A | 算数・数学B |
|-----------|-----|-----|------|------|--------|--------|
| 小学校 調査 | H26 | 羽生市 | 70.9 | 50.9 | 73.7 | 51.6 |
| | | 県 | 72.5 | 55.5 | 76.9 | 57.8 |
| | | 国 | 72.9 | 55.5 | 78.1 | 58.2 |
| | H25 | 羽生市 | 58.1 | 44.8 | 72.7 | 54 |
| | | 県 | 62.6 | 49.7 | 76.2 | 57.7 |
| | | 国 | 62.7 | 49.4 | 77.2 | 58.4 |
| 中学校 調査 | H26 | 羽生市 | 78.4 | 48.4 | 62.4 | 54.7 |
| | | 県 | 79.4 | 51.5 | 66.2 | 59.3 |
| | | 国 | 79.4 | 51 | 67.4 | 59.8 |
| | H25 | 羽生市 | 72.4 | 65.3 | 58.1 | 35.6 |
| | | 県 | 76.5 | 68.8 | 62.8 | 40.6 |
| | | 国 | 76.4 | 67.4 | 63.7 | 41.5 |

※A問題：主として「知識」に関する問題

※B問題：主として「活用」に関する問題

<用語説明>

- 1 教科ごとの平均正答率・・・それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率
- 2 領域、問題形式ごとの平均正答率・・・それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率

4 教科に関する調査結果

(1) 小学校

国語A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均をやや下回る結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」については全国・県平均をやや下回り、「読むこと」については、全国・県平均とほぼ同様、「書くこと」については全国・県平均を下回る結果でした。
- 「情景描写の効果を捉える」「文の意味のつながりを捉える」「言葉の意味と使い方を捉える」などに課題があります。

国語B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均を下回る結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読む能力」と全国・県平均を下回る結果でした。
- 「目的に応じて話し合いの観点を整理する」「立場を明確にして質問や意見を伝える」「わかったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連づけながらまとめる」などに課題があります。

算数A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均を下回る結果でした。
- 「図形」については全国・県平均とほぼ同様な結果となり、「数と計算」「量と測定」「数量関係」については全国・県平均を下回る結果でした。
- 「割合が1より小さい場合の比較量の求め方」「2つの数量の関係について単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連づける」「立体図形とその見取り図の辺や面のつながりや位置関係」などに課題があります。

算数B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均を下回る結果でした。
- 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」については全国・県平均を下回る結果となっています。
- 「示された計算のきまりを基に異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる」「全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択できる」「示された条件を基に条件に合う時間を求める」「示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる」などに課題があります。

【今後の指導のポイント・国語】

- 「文の定義や文及び文章の構成について学年の段階に応じた学習」「グラフや表に含まれる情報を正確に読み取った上で、話したり書いたりする学習」「話したり聞いたり、書いたり、読んだりする目的や意図に応じ、複数の情報を関連づけたうえで、条件に合わせながら自分の考えをまとめる学習」「複数の内容を含む文や文章を分析的に捉えたり関連づけてたりしながら自分の考えを書く学習」の充実を図ります。

【今後の指導のポイント・算数】

- 「算数の用語を用いて事象の関係を理解したり、適切に表現する学習」「方法や理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて必要な事柄を過不足なく記述する学習」「図や表を観察して、問題の解決に必要な情報を選択する学習」「場面の状況や操作の意味に基づいて式的確に読む学習」「根拠を基に論理的に説明する学習」の充実を図ります。

(2) 中学校

国語A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均をほぼ同様の結果でした。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国・県平均をやや下回り、「書くこと」については全国・県平均とほぼ同様な結果となっています。
- 「話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす」「書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す」「辞書を活用して語句の意味を適切に書く」などに課題があります。

国語B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均をやや下回る結果でした。
- 「書くこと」「読むこと」については全国・県平均を下回る結果でした。
- 「表現の技法について理解する」「複数の資料から必要な情報を読み取る」「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く」などに課題があります。

数学A (主として「知識」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均を下回る結果でした。
- 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」については全国・県平均を下回る結果になっています。
- 「数量の大小関係を不等式に表す」「分数を含む一元一次方程式を解く」「着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式を作ることができる」「証明を読み根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している」「図形の回転移動について移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取る」「度数分布表から相対度数を求める」などに課題があります。

数学B (主として「活用」に関する問題)

- 羽生市の平均正答率は、全国・県平均を下回る結果でした。
- 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」については全国・県平均を下回る結果になっています。
- 「事象を理想化、単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明する」「図形の性質

を、構想を立てて説明することができる」「グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる」などに課題があります。

【今後の指導のポイント・国語】

- 「具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使用する学習」「個々の発言を整理しながら話し合いの方向を捉えて話す学習」「相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書く学習」「表現した内容等を見直してよりよくする学習」「目的に応じて文章の特徴を捉える学習」の充実を図ります。

【今後の指導のポイント・数学】

- 「数学的に表現したり、数学的に表現された事柄を読み取ったりする学習」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動」「図形の性質を、構想を立てて説明する学習」「グラフの特徴を事象に即して解釈し、問題解決する方法を説明する学習」「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する学習」の充実を図ります。

5 質問紙調査結果の概要

(1) 児童生徒質問紙調査結果から

※質問事項は、小学校74項目、中学校74項目からの抜粋

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位%)

| | 質 問 事 項 | 小学6年生 | | | 中学3年生 | | |
|---|--|-------|------|------|-------|------|------|
| | | 羽生市 | 埼玉県 | 全国 | 羽生市 | 埼玉県 | 全国 |
| 1 | 朝食を毎日食べていますか | 97.0 | 97.2 | 96 | 96.4 | 94.5 | 93.5 |
| 2 | 学校のきまりを守っていますか | 93.0 | 93.1 | 90.5 | 94.4 | 93.7 | 93.0 |
| 3 | 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか | 95.9 | 95.6 | 94.4 | 96.8 | 95.7 | 95.3 |
| 4 | 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか | 67.5 | 65.1 | 61.0 | 40.4 | 47.7 | 46.6 |
| 5 | 家で、学校の宿題をしていますか | 96.5 | 97.5 | 96.5 | 83.5 | 85.8 | 88.2 |
| 6 | 国語の勉強は好きですか | 62.3 | 61.0 | 59.2 | 50.2 | 57.2 | 58.2 |
| 7 | 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 90.9 | 90.2 | 87.4 | 85.7 | 85.6 | 82.5 |
| 8 | 算数・数学の勉強は好きですか | 71.6 | 66.1 | 66.1 | 58.3 | 56.7 | 56.6 |
| 9 | 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 92.8 | 91.3 | 89.0 | 80.5 | 73.2 | 71.4 |

【調査結果から分かる特徴】

- 家庭生活についての質問については、小学生では、全国・県平均と同様な結果になっている項目が多くなっています。中学生では、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、学校の宿題をしている」は、全国・県平均を下回っています。
- 学習面についての質問には、小学生では、国語・算数への興味関心は全国・県平均を上回っています。中学生では数学への興味関心は全国・県平均を上回っていますが、国語への興味関心では全国・県平均を下回っています。

【家庭生活の改善点】

- 家庭学習の習慣は、生活習慣でもあります。毎日決まった時間に「必ず机に向かう習慣」や「授業で習ったことをさらに詳しく調べる」などの学習習慣が身につくよう、家庭でよく話し合って、実践していくことが大切です。
- 子どもの学習意欲を高める大切な働きかけに「子どもと将来や進路について話をする」ことがあります。低学年のうちから、将来について親子で楽しく話し合うことが大切です。